

土木学会 鋼構造委員会
「鋼床版の疲労」改訂小委員会

【活動予定期間】

2008年5月～2011年5月(3年間)

< 本委員会は2010年をもって活動を終了しています。 >

【活動の目的】

鋼構造シリーズ4として土木学会より出版された「鋼床版の疲労」の発行は1990年であり、それから20年近く経つ。当時の損傷事例としては、縦リブと横リブ交差部の横リブに設けられたスカラップから発生したものがほとんどであり、本書の興味もそこに向けられていた。しかし、周知のように、最近では他の部位にも多くの疲労損傷が発生し、現在各所で損傷の原因究明や対策についての検討が行われている。このような検討事例を冊子としてまとめ、広く公表することを目的とする。

【活動状況】

第1回～第12回小委員会(平成20年5月30日～平成22年12月8日 略)

「鋼床版の疲労」講習会

開催日時：平成22年12月21日(火)13:30～17:00

開催場所：土木学会 2階講堂

参加人数(78名：会員58名、非会員17名、学生3名)

第13回小委員会(最終)

開催日時：平成23年3月4日(金)13:30～17:00

開催場所：NEXCO 東日本 三郷管理事務所

参加者：委員13名、オブザーバー2名(NEXCO)

内容：東京外環道鋼床版の現場見学

【今後の活動計画】

【目標とする成果】

- ・小委員会の活動終了
- ・冊子発行：鋼構造シリーズ19 「鋼床版の疲労」(2010年改訂版)
 - 183ページ、3,000円、平成22年12月21日発行
 - 第1章 鋼床版とその歴史
 - 第2章 鋼床版の設計と施工
 - 第3章 鋼床版の疲労損傷

第4章 鋼床版の点検と調査

第5章 鋼床版の補修・補強事例

第6章 鋼床版の疲労に関する最近の研究事例

第7章 疲労に強い新しい鋼床版に向けて

・主な対象読者は、実務者、企業や官公庁の研究者、大学の研究者。

【構成委員】

委員長	森 猛
幹事長	下里 哲弘
委員	井口 進
委員	内田 大介
委員	小笠原 照夫
委員	梶原 仁
委員	後藤 和満
委員	高村 義行
委員	田畑 晶子
委員	遠山 直樹
委員	中野 博文
委員	西山 晶造
委員	藤木 修
委員	村野 益巳
委員	梁取 直樹
連絡幹事	柳沼 安俊